(様式第3号)

企業・団体名(長野テクトロン株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30変更】

項	カニ			【非該当】	【予定】の	具体的な取組	1 2	主な 3 4			ルと	169ターク				15 16 17
項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組 レベル	の場合 選択入力	場合 選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	1 Z ===================================	3 4 4 5 4 5 5 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	5 @*	6 ::::- 7 ::::::::::::::::::::::::::::::	o *****	9 10	11 ::::::			15 10 17
1	,	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制 を整備し、差別がないことを確認している	基本(必須)			性別・年齢・障がい・国籍・出身をはじめ、あらゆる雇用条件において、経営トップが率先して差別する事のない組織づくりを行っている。(教育体制や窓口の設置)			5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3				16.1 16.2 16.7
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相 談体制を整備している	基本(必須)			就業規則に明記し、発生しないルール作りを行っている。また、管理部総務グループに相談窓口を整備している。			5.1 5.2 5.5		8.5 8.8					16.1
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本(必須)			勤務時間は適正であり、かつ勤務時間外となる残業・ 休日出勤に関しては、基本的にゼロを目指しており、 正当な理由がない限りは、できない仕組みとなってい る。					8.5 8.8					
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本(必須)			国籍を問わない採用活動を行っている。現在、外国 人労働者はいないが、国籍を問わない就業規則・労 働条件を整え、常時募集を行っている。		4.4			8.7 8.8	10.2 10.3				
5	人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでい る	基本(必須)			社内に安全衛生委員会を設置し、グループ長以上の 管理職は、全員メンバーとなっている。月1回以上の 全体研修や、安全パトロールなどの実施を行ってい る。		3			8					
	· 労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本(必須)			外部機関が行っている「24時間電話相談」によるメンタルサポートを社員全員が受けられる体制を作っており、また定期的な社内アンケートを通じて、状況把握に努めている。		3								
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環 境の整備に取り組んでいる	基本(必須)			採用や昇進に対しては、一切隔たりを設けておらず、 特に女性従業員の割合は全体の50%以上となってい る。			5.1 5.5		8.5	10.2 10.3				
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本(必須)			新入社員に関しては、新入社員研修を実施し、また 従業員の希望や必要に応じて、外部機関の実施する 研修に参加できる体制が整っている。		4	5.5		8	9				
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本(必須)			同一労働同一賃金の原則に沿い、正社員・パート社 員の仕事内容の設定を行っている。			5.5		8.5	10.2 10.3				
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			協会けんぱに「健康企業宣言」を行っており、健康経 営優良法人の認定を受けている。		3			8					
11		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本(必須)			産業廃棄物は定められた通りの処理を行っており、個々の職場での削減に努めている。							11.6	12	14.1	
-	環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本(必須)			エネルギー使用量をデマンド監視装置などによって可 視化できるようにしており、エネルギー消費量の把握と 削減に努めている。 エネルギー 使用量を アマア 監視表 直なこによってむ				7.3				13		
13	境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			握し、具体的な削減方針を定めて削減活動に取り組んでいる。また社内の照明を全てLED照明に変更済				7.2 7.3				12.4 13.3		
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使 用に取り組んでいる	基本(必須)			有害化学物質の把握を行い、管理責任者を設けて、 鍵付きの保管庫にて使用管理を行っている。		3.9		6.3			11.6	12.4		

項力			Full State of N	/ T = 1 0	8 4-4-4-40									関連項目		
目テ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2 3	4 5	6	7	8 9	10	11 12	13 14		
項目番号	, = , , X L	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由配載)	120	2 ::: 3 :::::::: -/√÷	4 mer 5 men 1 m	<u>Å</u>	7 1111111111	**************************************	10 statem	8 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	16 11 16 11	₩ *
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本(必須)			自社が排出する有害化学物質や廃棄物について把握をしており、生態系や環境に悪影響が出ないよう、適正に処理を行っている。				6.6						15	
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本《必須》			ゴミの分別、リサイクル、裏紙を使用するなどのリ デュース活動に取り組んでいる。								13	14.1		
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自社の水道の使用状況を把握、分析し、使用量削減 についての社内掲示を行っている。	Ì			6.4 6.6							
18 環境	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得して いる	チャレンジ (任意)			ISO14001に沿った「環境マニュアル」での環境活動を 行っている。長野市が推進するエコサークルを取得し ている。	Ē	3.9		6	7			12	13.3 14	15	
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			ホームページや社内掲示を通して、環境に対する取り組みを周知している。	J							12.6			
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			自社内での取り組みに向けて、社内でできる内容につ いて検討を行っている。	,				7.2				13		
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			非合法材および、環境負荷物質を使用しない事を社 内推奨し、環境に配慮した調達に取り組んでいる。								12.2	13 14	15	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			随時、社員教育を行っており、発生しないよう予防に 努めている。										16 16.	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本(必須)			不正競争行為を含む行動規範などを社内掲示および回覧し社内周知を行っている。										16	i
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本(必須)			知的財産は、特許と商標を中心に必要に応じて知財保護に努めており、国際商標権も含めて、現在9件の権利を保有している。						8.2 8.3					
公正 25 来	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本(必須)			個人情報に関しては、社内のごく限られた担当のみが管理 できる組みとなっており、管理担当区域以外には流出しな いよう、管理徹底されている。	!									16	i
26 行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱って <u>いないこと</u> を確認している	チャレンジ (任意)			自社のサプライチェーンを把握しており、紛争鉱物な どの資材の取り扱いがないよう、管理している。										16	1
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)	_		取引先とのコミュニケーションを通じて、人権侵害、生態系への悪影響なきよう、活動を共有している。			5			8	10	12	13 14	15 16	3 17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本(必須)			「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3				8 9	10				17

項						主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17											—	
量	チェック項目		の場合	場合	具体的な収組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2 3	4 5	6	7	8	9 10	11			4 15	16	17
音		レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合こちらには理由配載)	1 225 84848	2 :::	4 *************************************	Q	7 Merican	8 2001	9 mm (\$\disp\)	- 11 :::::	S ::::::	13:::::	15 11 11	16 *******	₩ ₩
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本(必須)			製品やサービスの安全性は、設計、製造を通して社内検証を行っており、それでも不十分な場合を想定し、PL保険にも加盟も行っている。		3	9						12.4				
製品 ・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本(必須)			S09001に沿った「品質マニュアル」での生産活動を行っている。							9						
31 X	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			製品開発には、環境負荷物質を使用しないための設計ガイドラインがあり、社内周知を行っている。				6					12	13 1	14 15		
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			毎週、営業と開発の社内会議を行い、社会課題におけるサービス開発の機会を設けて取り組んでいる。	1	2	4 5	6	7	8	9 10) 11	12	13 1	14 15	16	17
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本(必須)			地域行事に積極的に参加する事により、近隣とのコミュニケーションを図り、自社に対する意見や要望などの情報収集に努めている。			4				9	11	12	1	14 15		17
地域貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			商工会議所に加入し、積極的に役職を引き受けるなど、社会貢献活動や対外活動に積極的に取り組んでいる。			4					11		1	14 15		17
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ (任意)			地域資源、地元企業に目を向けた資材調達や外注 委託を行っている。						8	9	11	12	13			
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本(必須)			経営理念・経営目標を策定し、社内掲示を行い社内 共有を図っている。						8	9						17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築 している	基本(必須)			社内掲示や社内回覧で、法令順守についての重要性 を発信している。												16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を 整備している	基本(必須)			責任者が取締役として担当しており、CSR管理者も兼任している。												16	
織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及 ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全 体)	基本(必須)			顧客満足度調査を実施して顧客との対話を図っている。また株主が経営幹部のため、利害関係者との意思疎通も取れている。												16	17
40 体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			リスクの洗い出しと、それに向けた対策の立案を予定 している。												16	
41	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組 んでいる	チャレンジ (任意)			CSR方針の策定とマネジメントプロセスに沿って取り組 んでいる。												16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			定期的な訓練を実施しており、BCPの策定を予定している。							9	11		13 13.1		16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			後継者候補がおり、サクセッションプランを含めた検討 を進めている。						8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5 6	7	8	9	0 1	1 12	13	14 15	16 17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただけれ ば登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづ くりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林 認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載※1…組織の社会的責任に関する国際規格※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定